


《学習のねらい》

- ・地球温暖化の原因と影響を知る。
- ・電気がどのようにして作られているのかを知り、どのように生活に役立っているのかを考える。
- ・地球温暖化や環境汚染を防ぐために、自分たちにできることを考えて意見を交流し、実生活で取り組む。



《学習の流れ》

実施時期 1～2学期

	学習活動の主な内容	指導のポイント
1 社会科	・生活に身近なゴミや水について学び、環境を守ることが自分たちの生活を守ることにつながることを理解する。	■自分たちにもゴミの減量、水を汚さないことや節水など、できることがあることを確認させる。
2 理科	京セラ株式会社による出前授業 ・電気の働きと発電の仕組みについて学ぶ。 ・電気でいろいろなものを動かしてみる。 ・光電池で電気が作られていることを知る。 （火力発電、風力発電、水力発電なども）	■電気が生活になくてはならないものということを確認させる。 ■電気を作るために必要なものを考えさせる。
3 総合的な学習の時間	みどり公社・大阪産業大学による出前授業 ・パワーポイントを使い、クイズ形式で地球温暖化の原因や影響を知る。 ・グループで手回し発電機を使って、電化製品にはたくさんのエネルギーが使われていることを実感する。 ・生活の中から省エネできるものはないかグループで考え、意見交流する。 	■地球温暖化の問題が身近で、今（近い将来）の問題であることを、確認させる。 ■地球温暖化の原因が二酸化炭素などの排出ガスであることを確認させる。
4 総合的な学習の時間	みどり公社・大阪産業大学による出前授業 ・温暖化や電気についてのふり返りをする。 ・エコな取組みについて考える。	■温暖化を防ぐためにできることがあることを確認させる。
5 総合的な学習の時間	・家族と話し合っって取り組むことになったエコ活動について交流する。 ・エコ活動の結果、得られる成果について考える。 ⇒ <u>結果が出るまでもとても長い時間がかかることや長期的な取組みが必要なことを確認する。</u>	■身近にできることがあることを確認し、それを実行できるか考えさせる。 ■エコ活動の結果にデメリットが少なく、メリットが多いことを確認させる。

《活用したプログラムや教材、ゲストティーチャー 等》

京セラ株式会社 環境安全課 「京セラ環境出前授業」

大阪府みどり公社 「省エネエコな暮らし」

大阪産業大学 「地球温暖化の今とこれから」



《成果（児童の感想や反応 等）》

- 地球温暖化の原因が自分たちにあること、温暖化防止のために自分たちにもできることがたくさんあることを知り、環境への関心が高まった。
 - 地球温暖化によって起こっている問題を自主学習ノートにまとめた。
（異常気象・海面上昇による陸地減少・動植物の生態系の変化など）
 - 学級学年での節電・節水の取組みにつながった。
 - 保護者から
「家で省エネやエコ活動、地球環境についての会話が增えた。」
「実際に取組みを始めた。より意識して取り組むようになった。」などの反応があった。
- 学習前と学習後に行ったアンケートでは、エコ活動を意識して家庭で新たに省エネやエコ活動を始めたという児童が多く見られた。
- 児童との会話から、将来を作っていくのは今を生きる自分だという意識が見られるようになった。
- 電気のつけっぱなしや水の出っぱなし等、普段の生活の中における小さなことが、地球環境に影響することを理解して行動する児童が増えてきた。

